

————— 中3生 虎の巻 —————

三重県

高校入試 **逆転合格**のポイント

家	庭	教	師	の	ト	ラ	イ
個	別	教	室	の	ト	ラ	イ

■ 入試情報

入試日	合格発表	内申点計算方法
■ 前期選抜： 2/8・9（金・土） ■ 後期選抜： 3/12（火）	■ 前期選抜： 2/16（土） ■ 後期選抜： 3/19（火）	前期選抜： 3年生2学期末内申 後期選抜： 3年生の1月末内申

■ 内申点情報

三重県の公立高校入試の場合、中学1年、2年の5段階の成績評価は高校入試の願書を提出する際にともに提出する「調査書」に記載されます。

とくに重視されるのが中学3年時の成績の合計（内申点）となります。

計算方法は各科目で5段階の成績評価がつくので、それをすべて足したものが内申点になります。

これには実技教科の4科目も含まれますのでご注意ください。

そのため、5段階の成績評価がすべて「5」であれば45点が内申点になります。

三重県の公立高校入試では内申点が入試当日の学力検査と

同じくらい合否判定に関係してくるので、

学校での定期テスト、提出物、授業態度なども力を入れましょう。



■ 前期選抜

前期選抜は2月上旬ごろに行われる入試です。この入試が実施される高校とされない高校がありますので注意が必要です。

選抜方法は自己推薦書、調査書、高校が実施する検査結果を踏まえ選考されます。選考基準は各高校によって異なります。実施を希望する高等学校が、事前に公表する『学校の特色』『選抜において重視する要件』に基づき独自の選抜を行います。

原則として、普通科は入学定員の30%以内、普通科の中に設置されているコース、専門学科、総合学科は50%以内です。選抜資料としては、【自己推薦書】【調査書】です。また、検査内容は、面接または『自己表現』、作文または小論文、実技検査、学力検査等の中から、各高等学校が自校の特色に合わせて指定した検査を実施します。前期選抜等に出願する際には、『入学確約書』の提出が必要です。そのため前期試験に合格した場合、後期試験への出願はできませんので出願校は慎重に選びましょう。

■ 後期選抜

後期選抜は3月中旬ごろに行われる入試です。

この入試は一部高校のコースを除いて全ての高校で実施されます。後期選抜では、学力検査を主とし、一部の高校では、実技検査、面接、自己表現、作文、面接を実施されるところもあります。学力検査は原則として各教科50点満点で合計250点満点で評価します。傾斜配点を実施する高校も一部あります。選抜は調査書、学力検査の結果、その他で実施された検査で評価されます。選抜方法は次の段階を踏んで実施されます。①：調査書の内容をもとに、募集定員のおおよそ100%になるように選抜します。（ここを110%、120%になるところもある。）②：志願者全員が受けている学力検査、実技検査の得点合計を得点順に並べ、そのうちの上から募集定員の80%を選抜します。

③：①、②の両方に含まれるものが合格になります。④：募集定員から③で選ばれた人数を引いた人数の2分の1を①で選抜された志願者から学力検査の得点順になれあべ、高い順に合格になります。残りの合格者は「特に重視する選抜資料等」の内容をもとに決定します。

■科目別対策

英語

- リスニング・英作文に注意
- 読む 聞く 書くをバランスよく

リスニングは、絵や表を用いたもの、対話に対する質問の答えを選ぶもの、日本語の要約文や表を完成させるもの、書き取り問題など、ほぼ毎年同じで、配点が36%を占めています。

英作文は、2つのテーマが与えられて、状況に合った英文を自分で考えて、それぞれ3つずつ書くことが求められています。全体として、読む・聞く・書くというバランスの取れた英語力が試される出題構成です。

数学

- 時間を意識する
- 解答パターンの練習

設問数はそれほど多くはありませんが、基本問題と応用問題が混在し、証明問題も含まれていますので、時間配分が必要です。

方程式の文章題、2乗に比例する関数のグラフの問題、円に関する問題、立体の中にできる線分の長さや体積や表面積を求める問題、規則性の問題がよく出題されています。また、証明など記述を要求する問題、作図問題など、解答作成能力が問われる問題も例年出題されています。

国語

- 記述問題に慣れよう
- 自分の意見をまとめる練習を

漢字は、読み書き4問ずつ。

小説は行動や心情の理由を問う問題が中心です。論説文は、内容理解と接続詞に関する問題が頻出で、文法の小問が入ります。どちらも読み取りやすい文章が多いですが、それぞれ記述問題が出ますので、「書くこと」に慣れる必要があります。表現は、発表原稿と資料に関する問題であり、記述問題も入っています。最後の大問は、160～200字の作文が出題されております。

■ 科目別対策

理科

- 基礎問題はしっかりと
- 考察問題が増加傾向

論述問題の割合が増えてきており、指示された用語を盛り込んで適切に説明をまとめられるかがポイントです。作図問題、計算問題、実験・観察の方法や注意事項に関する問題は例年出題されています。観察・実験を通して科学的な思考力をつけ、日常生活に生かすことが重要視されており、それに基づいて作図や作表、実験考察を中心とした、思考力を問う問題が増加しています。

社会

- 論述問題が増加傾向
- 資料の読み取る力をつける

図表・グラフ・地図・写真などの資料を使ったものが多く、読み取った情報と自分の知識を組み合わせる問題も見られます。短文説明形式の論述問題は、配点の2割以上を占めています。「指定語句」などの条件が付くことも例年同様なので、設問要求を理解して資料から情報を読み取り、要点を短文にまとめる力が得点を左右します。

内申点

- 内申点の割合が高い！
- 定期テストが大きく直結する
- 入試対策と並行しよう

合否判定における内申点の割合が高いのが三重県入試の特徴です。それゆえに、入試対策はもちろん、中3最後の定期テストの対策も並行してしっかり取り組む必要がある。主要5教科だけでなく、副教科の評価も大きく影響するので、手を抜かないことがポイント。余裕を持って当日の試験に臨めるよう、内申点を確保しておきたい。